

認知症高齢者の活動の質を評価する QOA 評価表とプラクティスガイドの開発（認知症のある方へのよりよい支援を考えるための研究）についてのご説明

患者さまへ

1. この研究がめざしているもの

私たち援助者は、**認知症のある方々の満足度を把握したい**と思っています。しかし、自分の思いを言葉にすることが難しい方の満足度を知ることに難しさを感じています。私たちは、**認知症のある方々の、活動への満足度を観察から把握する方法**（QOA 評価法と名付けています）**を開発するために研究**してきました。皆さんにご協力頂くことで、QOA 評価法が適切かどうかを分析し、**ご本人の満足度を高めるための関わり方を探りたい**と考えています。**満足度を高める関わり方は「プラクティスガイド」という形の冊子**にし、作業療法士や介護士など、**認知症のある方を援助する方々に役立てて頂きたい**と考えています。

2 この研究の方法（スケジュール）

あなたにはいつも通り、作業療法士と活動を行って頂きます。作業療法士は、その時の様子を QOA 評価法（表情や姿勢などから判断します）を用いて観察し、点数に影響を与えた原因（**関わりの何が良かったのか、良くなかったのか**）について考えます。そして、QOA 評価法を改良し、どうすれば、より満足度の高い活動を行えるのかのマニュアルとなるような**プラクティスガイドを作成**します。

あなたに負担や不利益が生じることはありません。

3. あなたの利益と危険性

QOA 評価法を用いて、**活動の満足度が調べられます。**また**プラクティスガイドの開発により、認知症ケアに携わる介護者にも関わりの参考に**してもらうことができます。その結果、**あなたへのケアが、より良いものとなる可能性**があります。

4. この研究への参加は自由です。

この研究に参加・協力していただけるかどうかは、あなたの自由です。

5. 同意はいつでも撤回できます。

研究に参加を決められた後でも、**いつでも研究協力を中止できます。**
研究に参加しない場合や、途中で研究協力を撤回した場合でも、あなたに**不利益が生じることはありません。**

6. プライバシーの保護

あなたのお名前は匿名化され、私たち研究者が知ることはありません。

得られた情報に関しては、漏えいのないように**厳重に保管**致します。

得られた結果は、学会や論文にて公表しますが、**必ずプライバシーを守り、あなたであることがわかるような形での発表は行いません。**論文発表 10 年後には、全てのデータを処分致します。

7. 患者さんに守って頂きたい事項

これらの内容をよくお読みになってご理解いただき、この研究に参加することを同意して頂ける場合は、別紙の同意書にご署名いただき、担当の作業療法士にお渡し下さい。よろしく願いいたします。

8. 緊急時の連絡先

ご質問やご意見がありましたら、下記、もしくは担当の作業療法士までご連絡ください。

担当者氏名：後藤 小百合（千鳥橋病院リハビリテーション技術部）

（研究分担者：佛教大学保健医療技術学部 白井はる奈）